

# ○ルービックキューブの解法 v2018.09.06

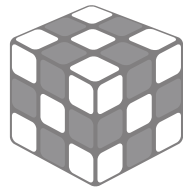
LBL (layer by layer) 法の簡易版

LBL 法は、下から順に作り上げていく方法。スピードキュービングでは、LBL 法のうち CFOP という方法が使われる。今回は LBL 法の覚えることを少なくしたやり方。

## 表記解説



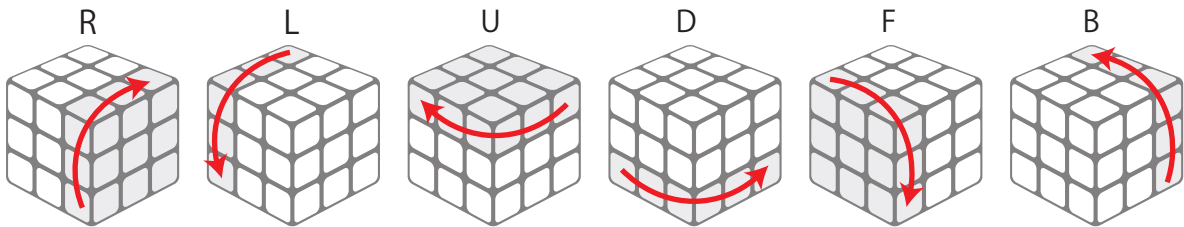
コーナーキューブ



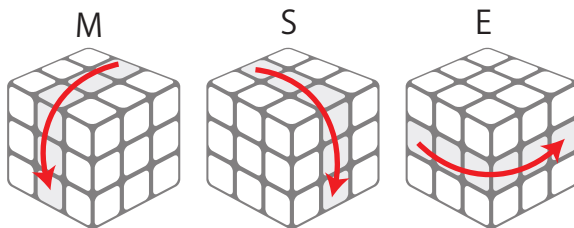
エッジキューブ

n Look  
= 特定配置の完成までに  
キューブを見る回数

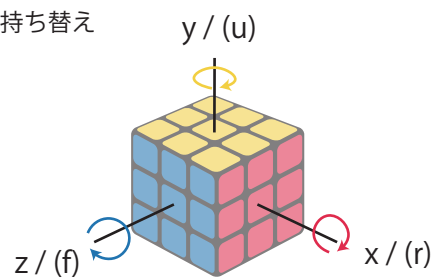
反対回転は <sup>プライム</sup>' 例: R'  
180 度回転は 2 例: R2  
2 層回転は w 例: Rw



スライスムーブ



持ち替え

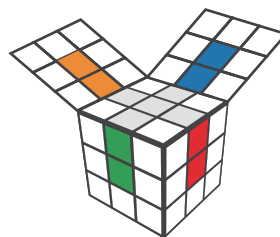


### ●そろえる順

- クロス
- ↓
- 1 層目のコーナーキューブ
- ↓
- 2 層目のエッジキューブ
- ↓
- 天井の色
- ↓
- 天井の側面の色

### ●1: クロス

①中心となるセンターキューブを決め、対応するエッジキューブを入れる。



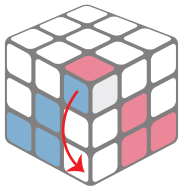
②天と地を反転させる。

● 2：1層目のコーナーキューブ

コーナーキューブを3層目から1層目に移動する。

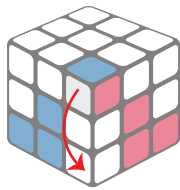
底の色が、そろえたいコーナーキューブのどの位置にあるかで3パターンに分けられる。

2-1 底の色が右



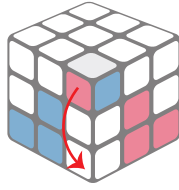
RUR'

2-2 底の色が左



URU'R'

2-3 底の色が上

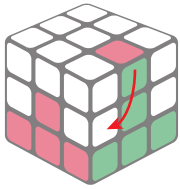


RU' R'U2RUR'

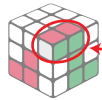
● 3：2層目のエッジキューブ

エッジキューブを3層目から2層目に移動する。移動したいエッジキューブが右にあるか左にあるかアンラッキーパターンかの3通りがある。

3-1 右パターン

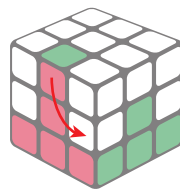


U'F'UFURU'R'

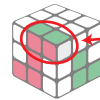


途中、このペアの動きに着目

3-2 左パターン

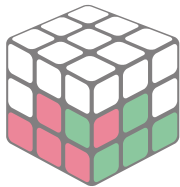


URU'R'U'F'UF



途中、このペアの動きに着目

3-3 アンラッキーパターン

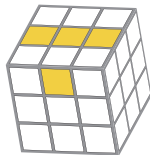


(RU2R'U)(RU2R'U)yL'U'L

● 4：天井に十字を作る

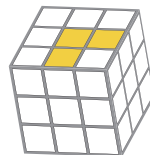
天井の状態によって以下の3パターンに分けられる。

4-1 I字パターン



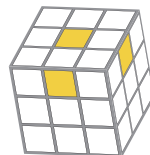
FRUR'U'F'

4-2 Lパターン

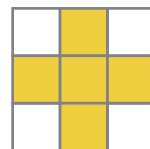


FwRUR'U'F'w

4-3 中央パターン

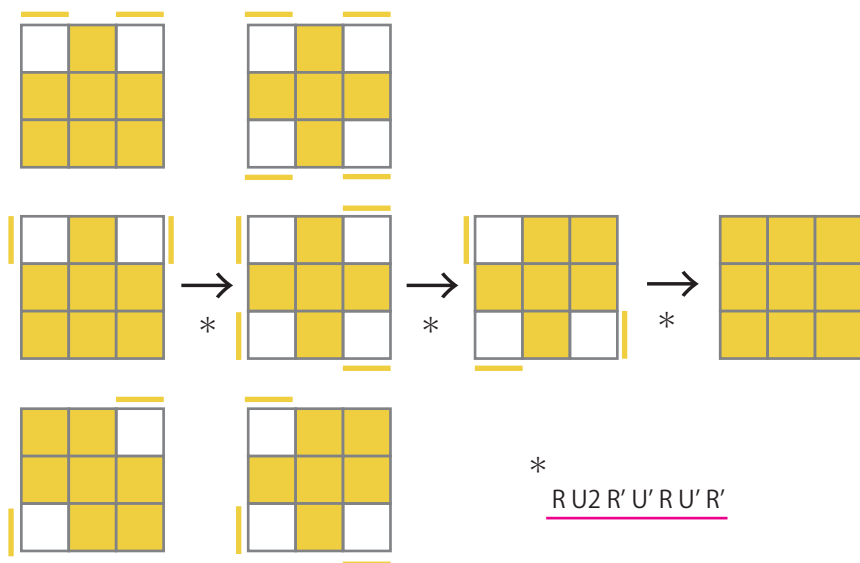


Iパターン+Lパターン

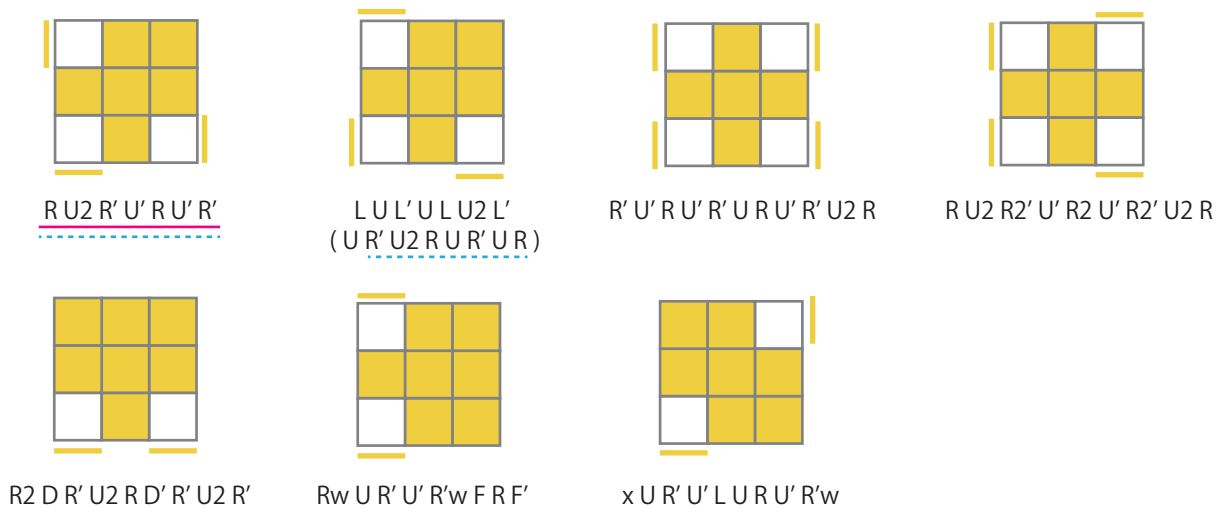


●5：天井コーナーキューブの色

(方法1) 天井とコーナーキューブの状態から以下の7パターンに分けられる。\*の手順を繰り返すことで最終的に天井一面の色がそろえる。



(方法2) 1 Look でそろえる。

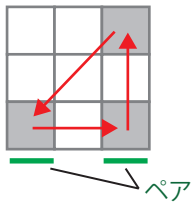


● 6 : 天井コーナーキューブの位置

以下の操作を繰り返し、天井コーナーキューブの位置をそろえる。

(i) ペアがある場合

(ii) ペアがない場合

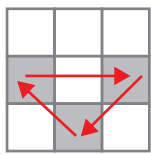


$F2 U' L2 U R2 U' L2 U R2 F2$

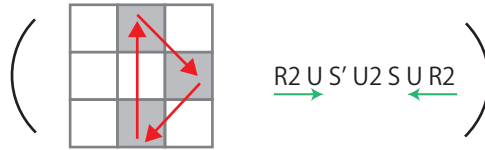
$F (R U' R' ) U' (R U R' ) F' - (R U R' ) U' R' (F R F' )$

● 7 : 天井エッジキューブの位置

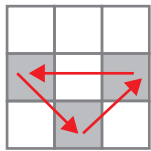
1 Look でそろえる。



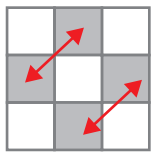
$R2 U R U R' U' R' U' R' U R'$



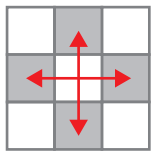
$R2 U S' U2 S U R2$



$R U' (R U) (R U) R U' R' U' R2$



$U' M' (U M2' ) (U M2' ) U M' U2 M2'$



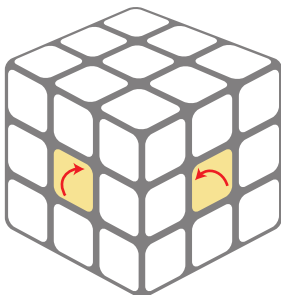
$(M2 U M2) U2 (M2 U M2)$

□ ————— 絵柄付きの場合 ————— □

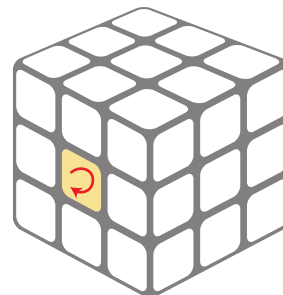
6面揃えた後、センターキューブの向きを修正する。AとBを繰り返すことでそろえていく。

● A : 90度ずれている2つの面を修正

● B : 180度ずれている面を修正



$M S M' F' M S' M' F$



$R L F R' L' F2$  を2回